

保管上の注意

- サイクルシュア® 24 BIを2℃から25℃の乾燥した条件下で保管してください。
- 滅菌器付近やエチレンオキシド、過酸化水素、酸、アルカリ、あるいはグルタルアルデヒドやホルムアルデヒドの様な殺菌消毒剤、ステラッド® 過酸化水素カセットまたはその他の酸化剤から離れた場所に保管してください。

使用前の注意

- サイクルシュア® 24 BI使用前に有効期限とキャップのケミカルインディケーター（赤）をご確認ください。
- アンプルが無傷であることをご確認ください。
- 滅菌前にサイクルシュア® 24 BIのキャップの穴にテープやラベルを貼らないでください。
- 滅菌前にキャップを押し込まないでください。
- サイクルシュア® 24 BIが冷蔵保存（冷えている）の場合、室温になってからご使用ください。



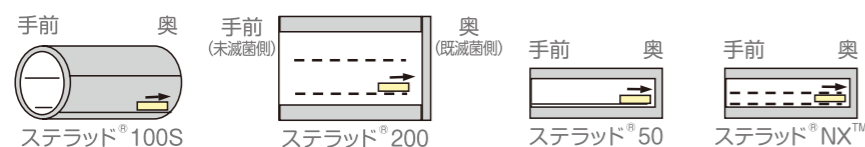
操作手順

1 サイクルシュア® 24 BIを、ステラッド® タイベック製滅菌ロールまたはパウチに入れ、ヒートシールしてください。



2 下図のように各種滅菌器の奥に設置し滅菌を開始してください。

注意：サイクルシュア® 24 BIの上に被滅菌物がかさならないように注意してください。



3 滅菌サイクルが終了したら、直ちにサイクルシュア® 24 BIを滅菌器から取り出し、滅菌パウチを開けずにキャップをしっかり押し込んで閉めてください。



4 滅菌パウチからサイクルシュア® 24 BIを取り出し、ケミカルインディケーターが黄金色に変化していることを確認してから、クラッシャーを使って、アンプルを割ってください。

注意：培地アンプルを手で割らないでください。



5 アンプルを割った後は、サイクルシュア® 24 BIを垂直に保ったまま、インキュベーターに入れ、55-60℃にて培養してください。



6 陽性コントロール：滅菌処理をしていないサイクルシュア® 24 BIのキャップを閉め、クラッシャーを使ってアンプルを割り、同様にインキュベーターにて培養します。陽性コントロールは、サイクルシュア® 24 BIの使用毎に用いてください。



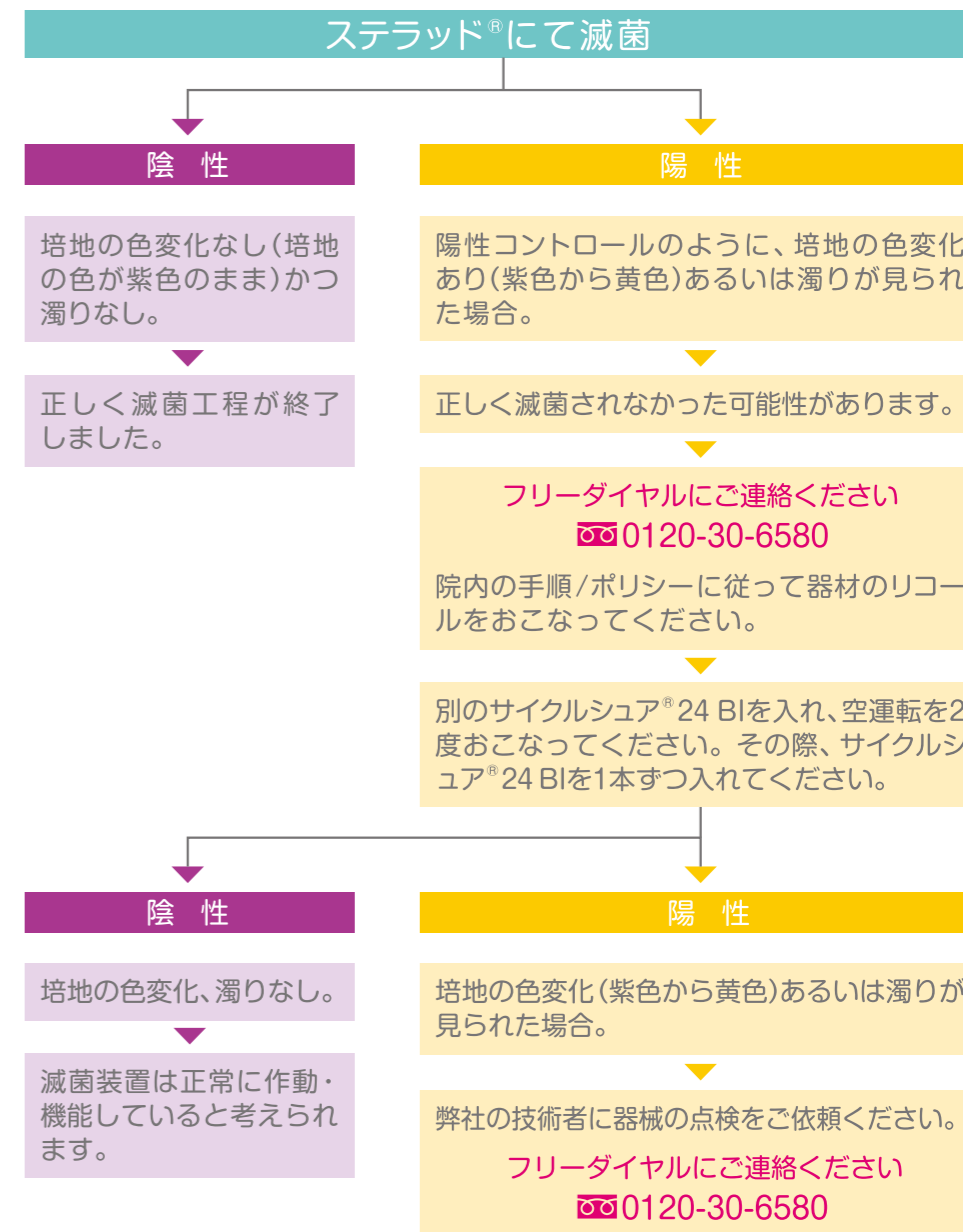
7 培地の色を観察し、24時間後以降72時間（3日）以内の結果を記録してください。滅菌処理したサイクルシュア® 24 BIを陽性コントロールと比較してください。



結果の判定：滅菌処理したサイクルシュア® 24 BIの培地に色の变化や濁りが見られなければ（培地が紫色のままであれば）、滅菌が達成された事を意味します。陽性コントロールのサイクルシュア® 24 BIのように培地が紫色から黄色に変化した場合、または培地に濁りが見られた場合は、滅菌が不十分であった可能性を示します。

8 結果の読み取りが終了したら、使用したサイクルシュア® 24 BIを院内の規定に従い廃棄してください。またはオートクレープ処理後に廃棄してください。

サイクルシュア® 24 BI判定時のフローチャート



滅菌済みのサイクルシュア® 24 BIが陽性になる原因として次の3つが考えられます。

1. 被滅菌物による影響
2. サイクルシュア® 24 BIの培養手技の問題
3. 滅菌器本体の問題

ステラッド®に関するお問い合わせ先 ☎0120-30-6580